

平成26年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年4月11日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9414 URL <http://www.bs11.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 目時 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画局長 (氏名) 内田 克幸 (TEL) 03(3518)1900
 四半期報告書提出予定日 平成26年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第2四半期の業績 (平成25年9月1日～平成26年2月28日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第2四半期	3,773	—	875	—	914	—	767	—
25年8月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第2四半期	106.63	—
25年8月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成25年8月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年8月期第2四半期の数値及び平成26年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、平成25年12月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第2四半期	10,518	8,753	83.2
25年8月期	8,880	7,985	89.9

(参考) 自己資本 26年8月期第2四半期 8,753百万円 25年8月期 7,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年8月期	—	0.00	—	—	—
26年8月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

- (注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 2. 当社は、平成25年12月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり配当金を算定しております。
 3. 平成26年8月期(予想)の期末配当金25円00銭には、東京証券取引所市場第二部上場記念配当金5円00銭が含まれております。
 4. 配当予想の修正については、本日(平成26年4月11日)公表いたしました「配当予想の修正(東京証券取引所上場記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年8月期の業績予想 (平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	11.2	1,550	13.8	1,500	10.9	1,200	△9.3	150.27

- (注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 平成26年8月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募株式数(1,380,000株)及びオーバーアロットメントによる第三者割当増資分(322,900株)を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年8月期2Q	7,198,516株	25年8月期	7,198,516株
26年8月期2Q	—	25年8月期	—
26年8月期2Q	7,198,516株	25年8月期2Q	—

- (注) 1. 当社は、第2四半期の業績開示を平成26年8月期より行っているため、平成25年8月期第2四半期の期中平均株式数を記載しておりません。
2. 当社は、平成25年12月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 決算補足説明資料は、作成後当社ホームページに速やかに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の景気は緩やかな回復が続き、平成26年4月の消費税率引き上げ前の駆け込み需要もあることから、今後も緩やかな回復基調で推移するものとみられております。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、デジタル放送受信機の普及に伴い、視聴可能世帯数の割合は全世帯の72.4%（「BS世帯普及率調査」(株)ビデオリサーチ調べ、平成25年9月及び12月調査の平均値）となり、またBSデジタル放送事業を含む衛星放送メディア分野の広告費は前年比で109.6%の伸長、中でもBS放送の広告費は、前年比で113.8%と好調に推移しております（「2013日本の広告費」(株)電通調べ）。

このような状況下、当社は皆様の「心に響くBS11」をコンセプトとして、ターゲットを絞ったクオリティの高い番組作りに引き続き邁進いたしました。10月の番組改編では、接触率の向上を目的として、これまで放送していたレギュラー番組の2時間スペシャルをお送りするとともに、紀行番組『とことん紀行』を『とことん歴史紀行』にリニューアルし、歴史上の人物のエピソード、ゆかりの場所、史跡など現代に継承される伝統文化に迫る番組といたしました。また新番組として古都にまつわる国宝の神秘に迫る『京都・国宝浪漫』の放送を開始いたしました。

9月にはスペシャル番組として『第32回 全日本ジュニアバドミントン選手権大会』を放送、2020年の東京オリンピックを目指すジュニア世代の活躍をお届けし、10月には『平成25年度 全日本学生柔道体重別選手権大会』を放送するなどスポーツ番組の充実を図りました。12月には『韓ラブ歌謡祭2013』を開催、韓国の著名アーティスト・アイドルが一堂に会し、大盛況となりました。また、佐賀市の全面協力のもと『夢をのせて 熱気球 大空へ～2013 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ～』を放送、地方で催される有名イベントを全国にご紹介する成功事例として、今後も地方公共団体との連携を充実させてまいります。さらに、放送とインターネットとの融合を図る取り組みの一環といたしまして、話題の週末ヒロイン、ももいろクローバーZによる『White Hot Blizzard MOMOIRO CHRISTMAS2013 美しき極寒の世界』を西武ドームより中継、インターネット動画配信サイト（Ustream）との連携に挑戦し、放送・動画配信共に期待を上回る実績となりました。平成26年1月には、視聴者の皆様からのご支持に応え、『ANIME+』を大幅に増枠、韓国ドラマにおいても、引き続きBS初登場の作品を多数編成・放送したことにより、売上増加に寄与いたしました。

費用面につきましては、引き続き番組制作費と番組購入費等の効率的なコントロールに努めながら、認知度向上のための施策として、戦略的に全国紙・地方紙への広告出稿を実施いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は 3,773,831千円となりました。営業利益は 875,186千円、経常利益は 914,850千円、四半期純利益は 767,608千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ 1,637,351千円増加し、10,518,232千円（前事業年度末比18.4%増）となりました。主な要因は、現金及び預金が 682,607千円減少したものの、建物（純額）が 1,089,804千円、土地が 1,216,178千円増加したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ 869,743千円増加し、1,764,756千円（前事業年度末比97.2%増）となりました。主な要因は、短期借入金が 1,000,000千円増加したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ767,608千円増加し、8,753,476千円(前事業年度末比9.6%増)となりました。この要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ682,607千円減少し、当第2四半期会計期間末には2,213,169千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、743,396千円となりました。これは主に、法人税等の支払額116,973千円があったものの、税引前四半期純利益914,850千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2,413,721千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,406,934千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、987,717千円となりました。これは主に、短期借入れによる収入1,000,000千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月期の業績予想につきましては、平成26年3月12日付の「東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,895,776	2,213,169
受取手形及び売掛金	1,178,358	1,184,269
番組勘定	64,144	52,671
その他	591,615	565,478
貸倒引当金	△10,700	△10,700
流動資産合計	4,719,195	4,004,888
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,058,386	2,148,190
土地	2,805,984	4,022,162
その他(純額)	122,739	166,146
有形固定資産合計	3,987,109	6,336,499
無形固定資産	12,734	12,013
投資その他の資産	161,840	164,830
固定資産合計	4,161,685	6,513,343
資産合計	8,880,880	10,518,232
負債の部		
流動負債		
買掛金	171,234	181,309
短期借入金	—	1,000,000
未払法人税等	127,800	86,119
その他	510,220	418,056
流動負債合計	809,255	1,685,484
固定負債		
退職給付引当金	27,186	30,766
その他	58,570	48,504
固定負債合計	85,757	79,271
負債合計	895,012	1,764,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,749,782	2,749,782
資本剰余金	2,083,573	2,083,573
利益剰余金	3,152,512	3,920,120
株主資本合計	7,985,868	8,753,476
純資産合計	7,985,868	8,753,476
負債純資産合計	8,880,880	10,518,232

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
売上高	3,773,831
売上原価	1,877,953
売上総利益	1,895,877
販売費及び一般管理費	1,020,690
営業利益	875,186
営業外収益	
受取利息	398
受取賃貸料	87,222
その他	357
営業外収益合計	87,978
営業外費用	
支払利息	4,738
賃貸収入原価	30,395
株式交付費	6,558
上場関連費用	4,786
その他	1,835
営業外費用合計	48,314
経常利益	914,850
税引前四半期純利益	914,850
法人税、住民税及び事業税	75,491
法人税等調整額	71,751
法人税等合計	147,242
四半期純利益	767,608

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	914,850
減価償却費	56,464
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,580
受取利息及び受取配当金	△398
支払利息	4,738
株式交付費	6,558
売上債権の増減額(△は増加)	△5,910
たな卸資産の増減額(△は増加)	11,473
仕入債務の増減額(△は減少)	10,074
未払金の増減額(△は減少)	△39,075
未払消費税等の増減額(△は減少)	△43,267
未収消費税等の増減額(△は増加)	△27,285
その他	△27,058
小計	864,744
利息及び配当金の受取額	401
利息の支払額	△4,775
法人税等の支払額	△116,973
営業活動によるキャッシュ・フロー	743,396
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,406,934
無形固定資産の取得による支出	△1,078
その他	△5,707
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,413,721
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,000,000
株式の発行による支出	△1,600
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△10,682
財務活動によるキャッシュ・フロー	987,717
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△682,607
現金及び現金同等物の期首残高	2,895,776
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,213,169

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(公募による新株の発行)

当社は、平成26年3月12日付で株式会社東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。当社は株式上場にあたり、平成26年2月4日及び平成26年2月19日開催の取締役会において、次のとおり新株式の発行を決議しており、平成26年3月11日に払込が完了いたしました。

この結果、資本金は3,911,397千円、発行済株式総数は8,578,516株となっております。

- | | |
|------------------|--|
| (1) 募集方法 | 一般募集 (ブックビルディング方式による募集) |
| (2) 発行する株式の種類及び数 | 普通株式 1,380,000株 |
| (3) 発行価格 | 1株につき 1,820円
一般募集は、この価格にて行っております。 |
| (4) 引受価額 | 1株につき 1,683.50円
この価額は、当社が引受人から1株当たりの新株式払込金として受取った金額であります。なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。 |
| (5) 発行価額 | 1株につき 1,428円
この金額は会社法上の払込金額であり、平成26年2月19日開催の取締役会において決定された金額であります。 |
| (6) 資本組入額 | 1株につき 841.75円 |
| (7) 引受価額の総額 | 2,323,230千円 |
| (8) 発行価額の総額 | 1,970,640千円 |
| (9) 資本組入額の総額 | 1,161,615千円 |
| (10) 払込期日 | 平成26年3月11日 |
| (11) 資金の使途 | 主に、既存スタジオに係る放送関連機材、新規スタジオ設置に係る放送関連設備、本社機能拡充のための関連設備への設備投資資金及び借入金の返済に充当する予定であります。 |

(第三者割当による新株の発行)

当社は、平成26年2月4日及び平成26年2月19日開催の取締役会において、野村證券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し（貸株人から借入れる当社普通株式322,900株の売出し）に関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議しており、平成26年4月8日に払込が完了いたしました。

この結果、資本金は4,183,198千円、発行済株式総数は8,901,416株となっております。

- | | |
|------------------|--------------------------|
| (1) 発行する株式の種類及び数 | 普通株式 322,900株 |
| (2) 割当価格 | 1株につき 1,683.50円 |
| (3) 発行価額 | 1株につき 1,428円 (会社法上の払込金額) |
| (4) 資本組入額 | 1株につき 841.75円 |
| (5) 割当価格の総額 | 543,602千円 |
| (6) 発行価額の総額 | 461,101千円 |
| (7) 資本組入額の総額 | 271,801千円 |
| (8) 払込期日 | 平成26年4月8日 |
| (9) 割当先 | 野村證券株式会社 |

(10) 資金の使途

主に、既存スタジオに係る放送関連機材、新規スタジオ設置に係る放送関連設備、本社機能拡充のための関連設備への設備投資資金及び借入金の返済に充当する予定であります。